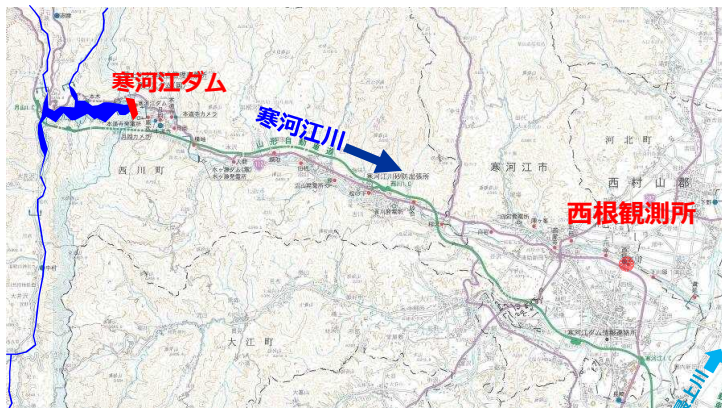
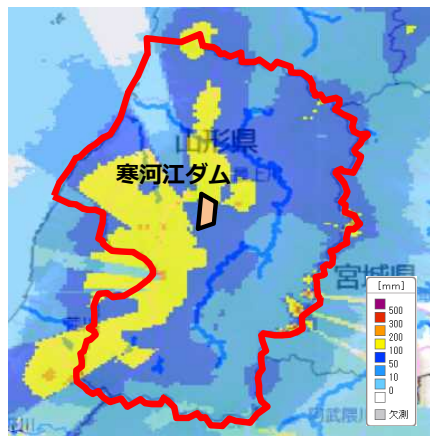


- 低気圧の影響により、寒河江ダム上流域において、12月15日8時から降り始めた雨は、16日8時までには流域平均累加雨量が99mmに達しました。寒河江ダムの流入量は15日22時30分にピーク流入量毎秒299m³を記録した後減少し、その後16日4時50分に最大流入量毎秒311m³に達した後、16日10時10分に洪水量の毎秒200m³を下回りました。その後、再び16日15時から雨が降り始め、18日9時までには流域平均累加雨量が58mmに達しました。この雨により16日23時10分にピーク流量が毎秒206m³に達し、3山洪水となりました。
- 寒河江ダムでは、約2,000万m³（※東京ドームで約16.1杯）の水を貯め込み、ダム下流寒河江川の寒河江市西根地点で最大約0.92mの水位を低減させる効果があったものと推測されます。

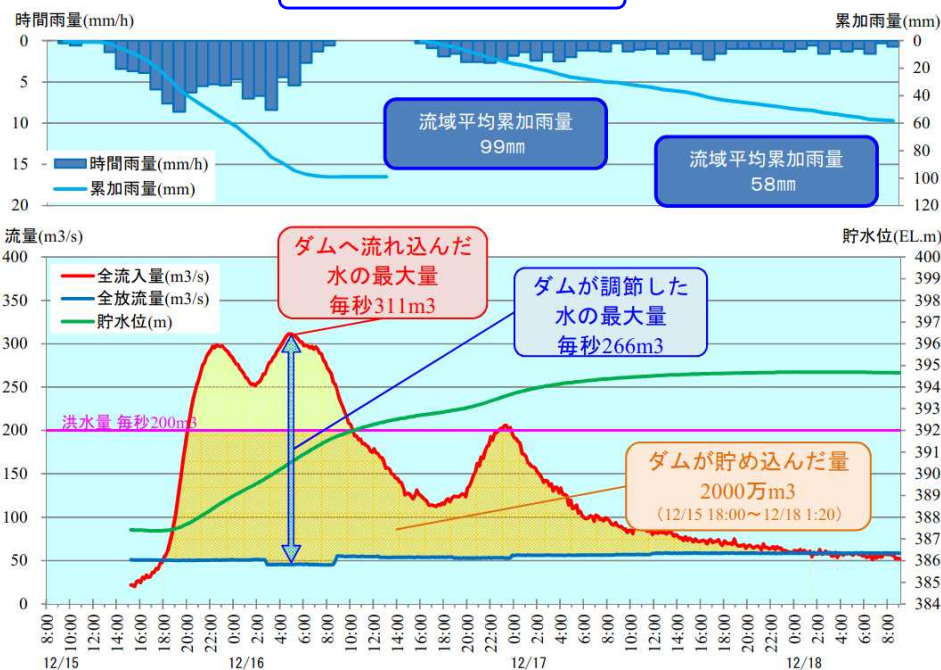
※東京ドーム約124万m³

レーダー累加雨量
(12月15日8:00 ~ 12月18日9:00)

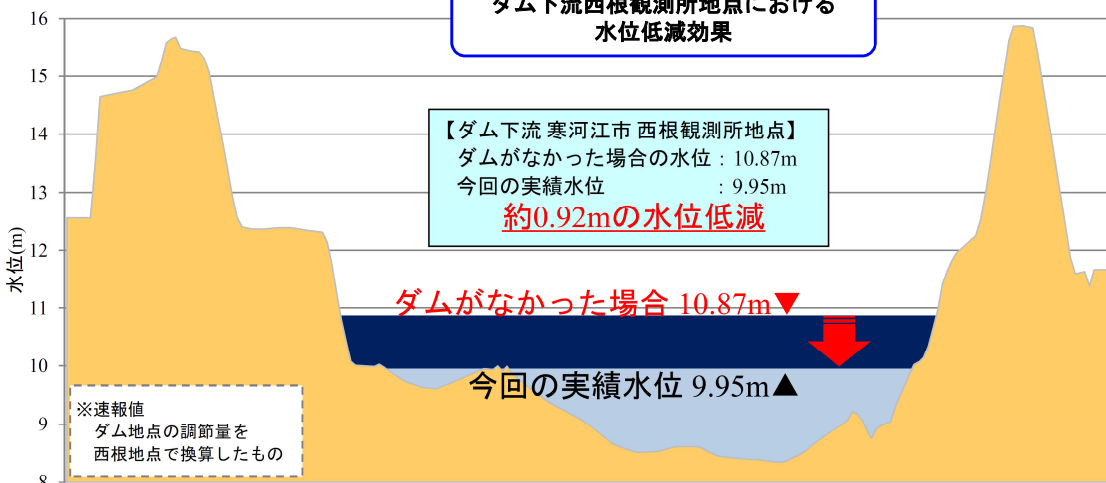
位置図



寒河江ダムの洪水貯留状況



ダム下流西根観測所地点における
水位低減効果



寒河江ダム貯水状況

